



2018（平成 30）年 3 月 29 日

各 位

会 社 名 J X T G ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 内田 幸雄
コード番号 5 0 2 0 東証・名証第 1 部
問合せ先 財務 I R 部 I R グループマネージャー
日暮 達也
(電話番号 03-6257-7075)

当社子会社による機能材事業の一部譲渡について

当社子会社の J X T G エネルギー株式会社（社長：杉森 務）は、当社グループ会社である Irvine Scientific Sales Company, Inc.（以下、「I S 社」）および株式会社アイエスジャパン（以下、「アイエスジャパン社」）の発行済全株式を富士フィルム株式会社（社長：助野 健児）に総額約 8 0 0 百万米ドルで譲渡することを決定しましたので、お知らせいたします。

当社エネルギー事業は、今般の事業譲渡による事業ポートフォリオの最適化を通じ、コア事業である石油精製販売・化学品事業および次世代の柱となる事業に経営資源を注力し、収益力の向上と競争力の強化を図ってまいります。

なお、本件による 2018 年 3 月期連結業績への影響は軽微です。

以 上

「添付資料」

当社機能材事業の一部譲渡について

2018年3月29日

各 位

J X T G エネルギー株式会社

当社機能材事業の一部譲渡について

当社(社長:杉森 務)は、当社グループ会社である Irvine Scientific Sales Company, Inc.(以下、「IS社」)および株式会社アイエスジャパン(以下、「アイエスジャパン社」)の発行済全株式を富士フイルム株式会社(社長:助野 健児)に総額約800百万米ドルで譲渡することを決定しましたので、お知らせいたします。

1. 事業譲渡の目的

当社は、将来的なバイオ医薬品市場の成長に伴う培地市場の拡大を期待し、1987年にIS社の株式を取得するとともに、1989年に日本での同社製品の販売会社アイエスジャパン社を設立しました。現在、両社は一定の市場プレゼンスを有し、安定的に利益貢献するまでに成長いたしました。

一方、当社は中期経営計画において、「コア事業である石油精製販売・化学品事業の競争力強化」、「次世代の柱となる事業の育成・強化」に向け取り組むとともに、収益力の向上と競争力の強化に向けた事業ポートフォリオの見直しを進めております。このような中、培地事業は今後も成長が見込まれる分野であるものの、継続的な投資を維持していくためには、当社事業との関連性が低いものと判断せざるを得ませんでした。

このため、培地事業との親和性が高く、両社を高く評価していただける富士フイルム株式会社に譲渡することが最善の選択であるとの結論に至りました。

2. 譲渡企業の概要

(1)IS社

会社名	Irvine Scientific Sales Company, Inc.
代表者	佃 幸樹
設立	1970年
資本構成	JX Holdings (U.S.A) Inc.* 100% *JXTG HD の100%子会社
本社所在地	1830 E. Warner Avenue, Santa Ana, CA, USA
主要な子会社	BioCare Europe S.r.l.、欧莞科技咨询(上海)有限公司
事業内容	欧米を中心とした細胞培養用培地および体外受精関連試薬等の研究開発・製造・販売・サポート

(2)アイエスジャパン社

会社名	株式会社アイエスジャパン
代表者	永野 裕一
設立	1989年
資本構成	当社 100%
本社所在地	埼玉県戸田市新曾南3丁目17番35号
事業内容	国内・韓国を中心とした細胞培養用培地および体外受精関連試薬等の製造・販売・サポート

3. 事業譲渡先の概要

会社名	富士フイルム株式会社
設立	2006年 ※富士フイルム株式会社は、富士写真フイルム株式会社の事業を継承し、新たに設立
資本金	400億円
本社所在地	【東京ミッドタウン本社】 東京都港区赤坂9丁目7番3号 【西麻布本社】 東京都港区西麻布2丁目26番30号
事業内容	イメージングソリューション(写真フイルム・プリント関連製品、インスタントフォトシステム、デジタルカメラ、光学デバイス等)、 インフォメーションソリューション(メディカルシステム機材、ライフサイエンス製品、医薬品、グラフィックシステム機材、ディスプレイ材料、記録メディア、電子材料等)の開発、製造、販売、サービス

当社は、今般の事業譲渡による事業ポートフォリオの最適化を通じ、コア事業である石油精製販売・化学品事業および次世代の柱となる事業に経営資源を注力し、収益力の向上と競争力の強化を図ってまいります。

以上